

名古屋市 御中

名古屋城木造天守閣の昇降に関する 新技術の公募支援業務委託（令和3年度）

お打合せ資料【第21回】

令和3年9月10日

株式会社日本総合研究所



アジェンダ

日時：9月10日（金）09：30～10：30 ※オンライン会議

1. バリアフリー審査による足切りについて
2. 事業者の動向
3. 今後について
 1. 次回打ち合わせの議題について



1-1.前提条件の整理

貴局の課題意識

- ✓ バリアフリーが一定未満の対応である提案を、確実に落としたい。
- ✓ また、全ての提案が一定未満の水準の場合、どこも選ばないという選択肢を持つておきたい。

検討するべき事項

- ✓ バリアフリーに対して無配慮の提案が選定されない事業者選定方法を検討する。
 - なお、これはいわゆる「足切り」であり、審査員（及び参加者）の負担軽減のための「絞り込み」（段階的審査）とは、性質が異なる。

参考：審査基準抜粋（210903貴市コメントバック版）

	審査区分	No.	審査基準(最終審査)	配点	審査の観点
加重要求水準	バリアフリー (有用性)	22	利用対象者の範囲が広いこと	50	・利用対象者の範囲が広い技術であるか開発に当たって利用者のニーズの把握等に努めており、その内容を技術に丁寧に反映しているか
		23	誰もが簡単に使えること	50	・独りで簡単に使うことができるか簡単な説明を聞くことで使うことができるか
		24	健常者の移動と同じような時間で移動できること	50	・一般歩行者の歩行速度（0.3m/s）と比較し、同等程度で移動できるものか
		25	多人数による反復した利用が可能であること	50	・多人数による反復した利用が可能か
		26	健常者の移動経路を妨げず共存した経路であること	50	・一般の移動を妨げないと判断できるか、その改善の見込みがあるか
		27	大天守のより上層階まで上がれること	50	・どれだけ上層階まで登れる見込みがあるか（例：階段体験館の踊り場をスムーズに移動できるか、最も高い階層（約7.5m）以上の昇降ができるか）
		28	怖い思いをしないで乗れること	50	・安心感を得られる工夫はされているか
		29	他の人の助けを借りることなく昇降できること	50	・介助者がすぐ傍にいる状態であっても、極力、介助者等の助けを借りることなく利用者自らの操作で昇降できるか。

1000点満点

1-2.パタンの抽出

- ・バリアフリー審査による足切りについては、実施のタイミングにより3パターンの方法が考えられる。

パターン 1

提案書受取後早々に足切り評価員会を実施し、バリアフリー対応の至らない提案を落選させる。

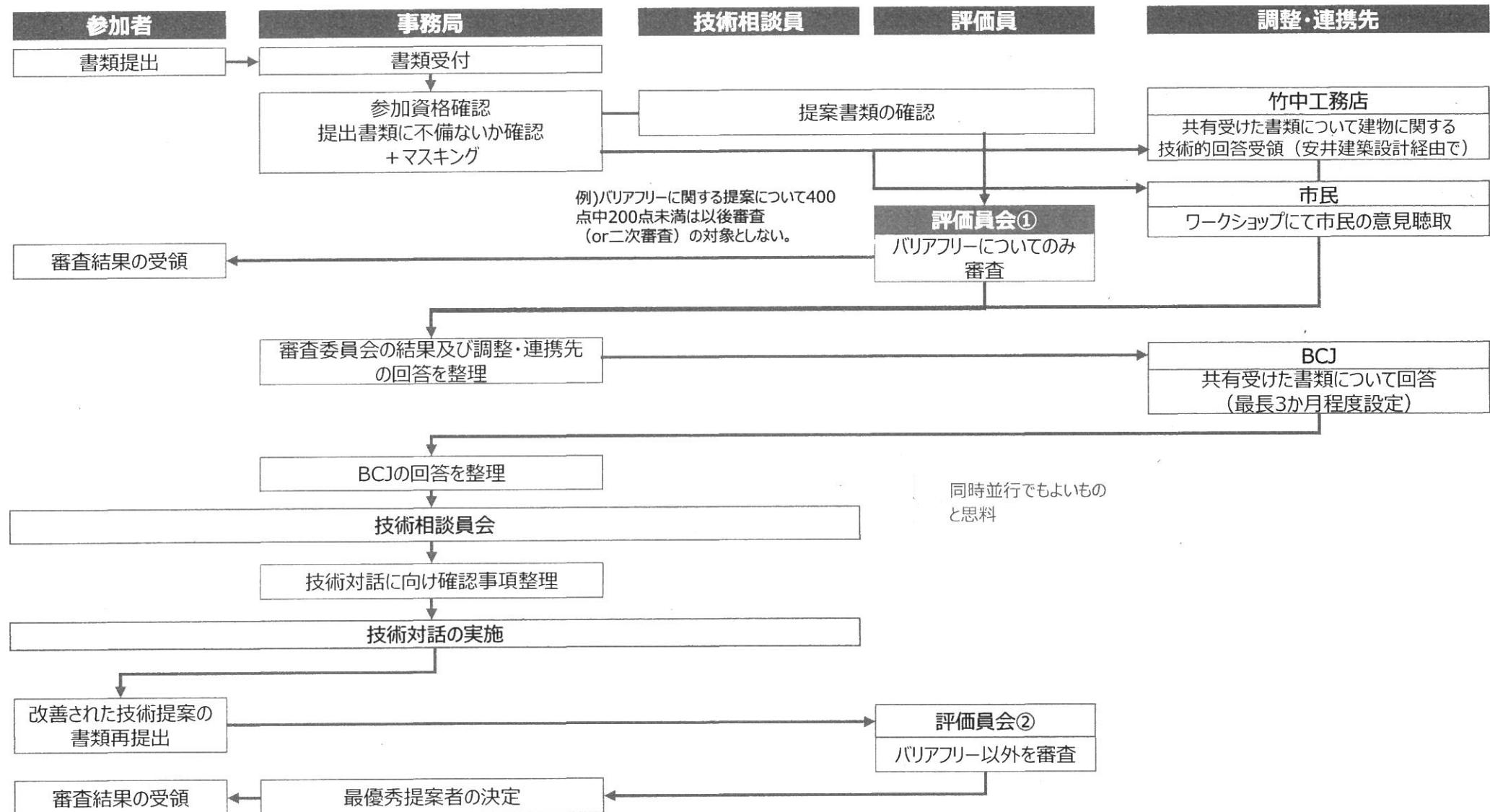
パターン 2

技術対話前に足切り評価員会を実施し、バリアフリー対応の至らない提案を落選させる。

パターン 3

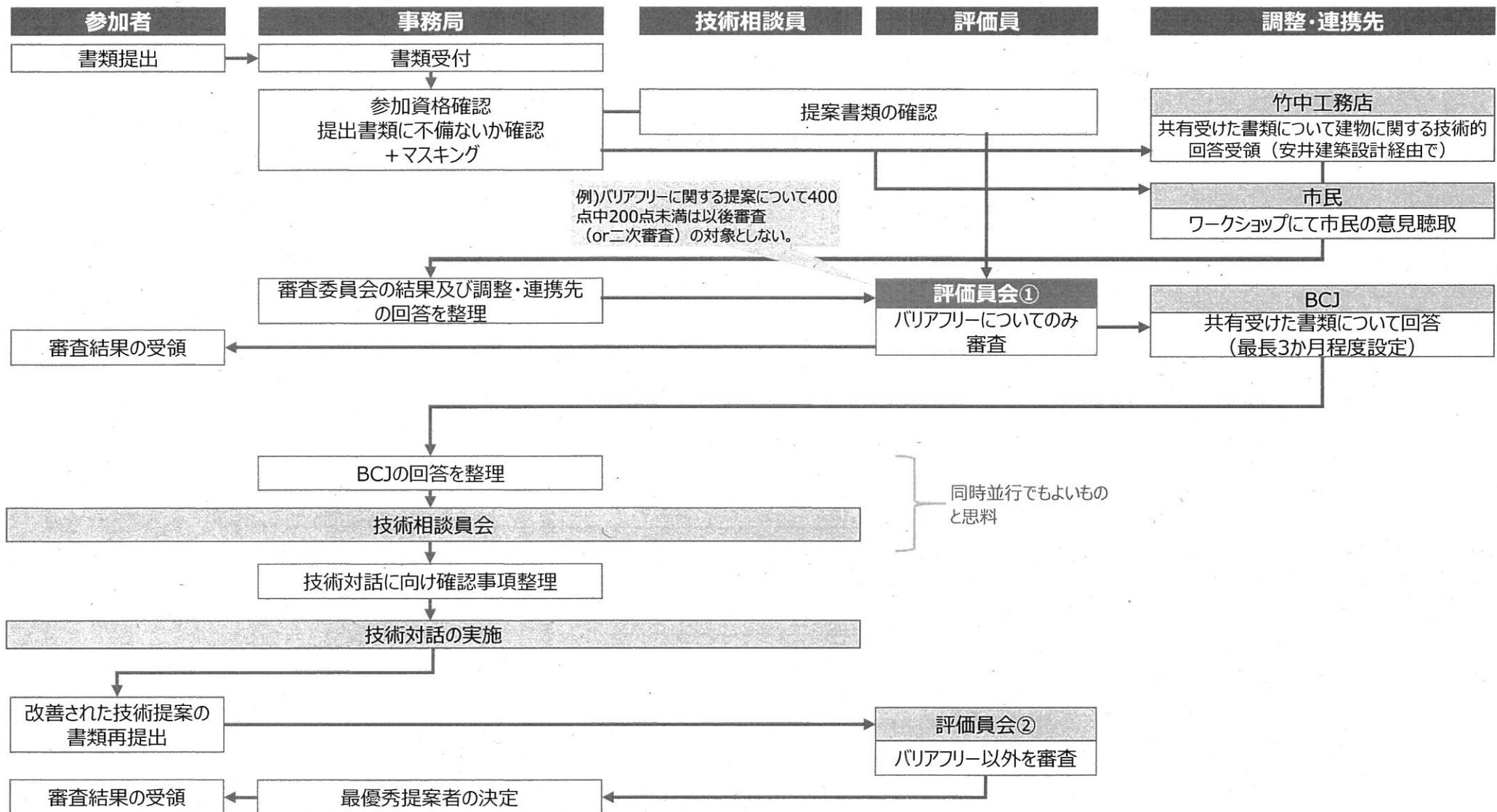
現状予定通り、（技術対話後の）本審査において評価員会を実施し、バリアフリー対応の至らない提案を落選うえで、最優秀提案を選定する。

1-3.審査期間中の流れ パタン1：早期の提案評価



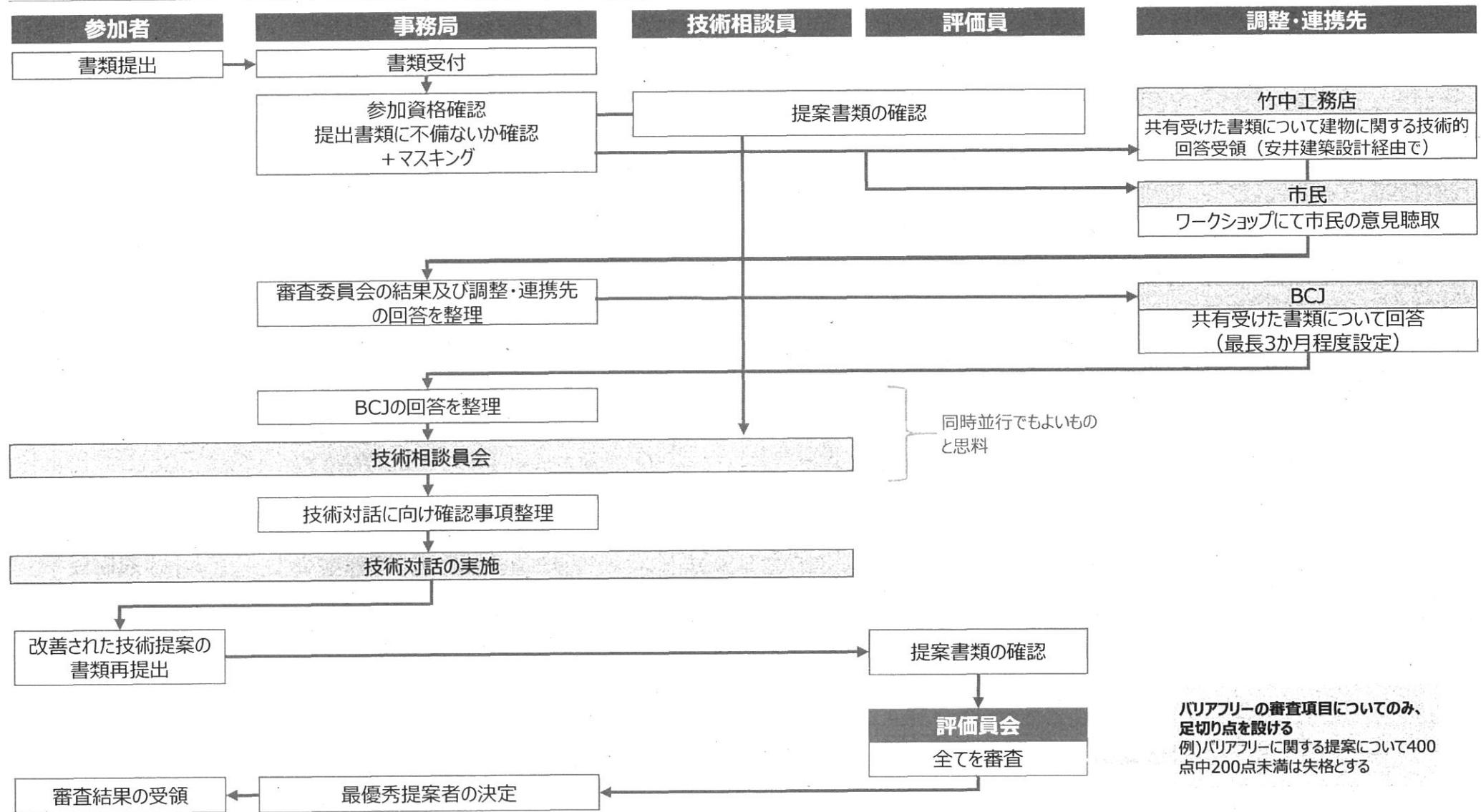
出所：日本総研

1-3.審査期間中の流れ パタン2：WS後の提案評価



出所：日本総研

1-3.審査期間中の流れ パタン3：現状想定通り



1-4.論点整理

- 弊社評価においては、パタン3が優れることとなるが、貴市が何を重視するかで決定して支障ないと思料。

	パターン1：早期の提案評価	パターン2：WS後の提案評価	パターン3：現状想定通り
技術対話の活用・有効性	技術対話前に参加者を絞り込むため、技術提案の有効性が喪失する。 ※技術対話後の改善提案において、	技術対話前に参加者を絞り込むため、技術提案の有効性が喪失する。	技術対話後に参加者を絞り込むため、技術提案の有効性は保持される。
市民意見の反映	WS前に審査するため、バリアフリーの点で劣るものの、その他の点で優れ、かつ市民が好む提案を落選させてしまう可能性あり。	WS後の審査となるため、反映可能	WS後の審査となるため、反映可能
審査員の負担	2回の審査が必要となるため大きいといえる	2回の審査が必要となるため大きいといえる。	1回の審査で済む。
審査スケジュール	現状想定スケジュールどおりで進められる。(評価員会①は竹中調整、WSと同時並行で実施想定)	竹中調整及びWS後、BCJ調整前に実施する必要があるため、スケジュールがタイトとなる。	現状想定スケジュールどおりで進められる。
参加者の負担	貴市ニーズに適わない提案については早期に落選となるため、負担は少ない。	貴市ニーズに適わない提案については早期に落選となるため、負担は少ない。	貴市ニーズに適わなくても、最後(審査員会)まで対応が必要となるため、大きい
事務局の負担	提案書類受取～WSは、短期に多くの作業が必要となるため、大きい。	審査会が1回増えることを除けば、現状想定と相違ない。	現状想定と相違ない。



参考：直近の事例

【更新】仙台市ガス民営化、最優秀提案「なし」 4社グループの計画酷評、専門家委が答申

2021年09月07日 21:19

仙台市のガス事業民営化で、事業継承者を審査した専門家でつくる民営化推進委員会（委員長・橋川武郎国際大副学長）は7日、最優秀提案者を「該当なし」とする答申書を郡和子市長に提出した。

東北電力、カメイの地元2社と東京ガス、石油資源開発（東京）の4社グループが唯一、事業継承者の公募に応じたが、200点満点の審査で評価は半分以下の85・3点にとどまった。



仙台市ガス局=仙台市宮城野区

計画見直し迫られる

市は答申を踏まえ、早急に対応を検討するが、2022年度中を目指した民営化計画は、大きく見直しを迫られることになる。

橋川委員長が市役所を訪れ、答申書を手渡した。推進委によると、東北電グループは譲り受け希望価格を最低譲渡価格と同額の400億円と提案。60点を配分をしたが、価格の上積みがなく採点は0点だった。

安定供給と保安体制は評価したもの、譲渡後5年間で約2万件の顧客を失う事業計画が示され、民営化の目的の一つとした「ガス事業の永続的発展」の基本的な趣旨が十分にくみ取られていないと判断した。

電気やLPGガス、灯油とのセット販売など提案があった新サービスは「具体性に欠ける」と指摘し、料金の引き下げを「明示すべきだった」と苦言を呈した。

答申書は「リスク管理に重点を置いた『守り』の印象が強い。市民、ユーザーに民営化のメリットが具体的に実感しにくく、非常に残念」と提案内容を酷評。「苦渋の選択だが（最優秀提案者は）該当なしとするのが適当」と結論付けた。

出所：河北新聞（2021/9/7）<https://kahoku.news/articles/20210907khn000008.html>

2.事業者の動向

- 某メーカーからヒアリング申し込みがあり、昨日WEBによるヒアリングを実施。
- メーカーとして、「定められた製品を納入する以上の対応はしたくない」という姿勢であり、名古屋城木造天守閣においてバリアフリー機能を具備する、という本事業のコンセプトの実現に対する協力姿勢を見出すことができなかった。

ヒアリング結果

社内に建築に精通した職員がいないため、昇降機に関する許認可や建築関連の調整等を行うことが難しい。そういう対応を市やJRI、名古屋城の施工者側で対応いただくことはできないか。

- ⇒ 名古屋市に確認するが、基本的に事業者側での対応が必須と考えている。対応が難しいようならば、それができる事業者と組んで公募に参加いただく等検討いただきたい。(JRI)
- ⇒ 建築設計事務所やゼネコン、建設コンサルタント、CM会社等とコンソーシアムを組むことが考えられるだろう。(JRI)

我々側に建築側の知識が乏しく、そういう事業者と対等な関係を構築し、プロジェクト全体をマネジメントするような体制を構築することが難しい。名古屋城の施工者の下に入って仕様発注してもらうような体制にすることはできないのか。

- ⇒ 今回の公募の立て付け上難しい。事業者には昇降設備の導入に関しては全体をマネジメントしてもらう必要があると考えている。(JRI)

現在の条件では、我々が代表企業として公募に参加するのは難しそうに感じている。参加を見送らなければならない可能性もある。

- ⇒ 了解した。条件については名古屋市に相談したうえで、改めて連絡する。

最低要求水準（抜粋）

区分	内 容
実現性	1 提案に実現性があること 2 必要な許認可を把握していること

加点要求水準（抜粋）

区分	内 容
実現性	14 体制及びスケジュールにより期限内に昇降技術開発、製造、設置等導入が可能であると見込める事 15 必要な許認可が得られる見込みがあること (例：ISO14971、JISマーク取得、JASPEC、型式適合認定等)

2.次回お打合せ

日時：9月15日（水）09：30～11：00（オンライン会議）
※11:00からWEB製作企業との打ち合わせ

1. 名古屋市様からの情報共有

2. 公募資料の確認

1. 公募要項の修正ポイント
2. 公募要項別紙の修正ポイント
3. 要求水準の修正ポイント
4. 審査基準の修正ポイント
5. 様式集の修正ポイント

3. 今後について

1. 業務スケジュール確認
2. 課題の確認
3. 次回打ち合わせの議題について